

# REPORT

NO.01



吉沢工業

の

ポリ袋LAB

吉沢工業株式会社

本社・工場 〒938-0802 富山県黒部市若栗2163 TEL 0765-52-0046  
東京営業所 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町115-1 TEL 047-346-5277

[www.yoshizawakogyo.com](http://www.yoshizawakogyo.com)

# REPORT

NO.01

スーパーのレジ袋などのポリ袋は、原油から作られるプラスチック製品です。しかし、プラスチックは環境を破壊します。なぜなら、土に戻ることもなく、捨てられてしまうとずっとそこにあるからです。また、軽いから飛んでいくことも多く、それがたとえば海に落ちて海洋生物が食べてしまうこともあると言われています。また、石油はいつかなくなってしまうのでずっと使うことはできません。

吉沢工業は、長いあいだ持続可能なポリ袋を研究し、様々なことに取り組んできました。研究成果と、今の取り組みについてレポートします。

## ポリ袋業界の課題

- 1 原料の石油はいつかなくなる。
- 2 石油由来のポリ袋は土に還らないので環境を壊す。

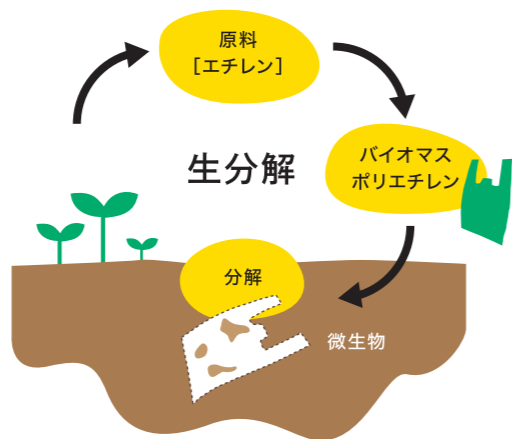


## 『バイオマスプラスチック』で課題を解決

バイオマスとは動植物や生物の遺骸、排泄物、農産物などを含みます。そして、ポリ袋を作るためのバイオマスプラスチックは、じゃがいもやさとうきび、とうもろこし、大豆、タピオカなど、再生可能なバイオマスから作られます。

### さらに「生分解する」と完璧！

あるものが、土に埋めると微生物によって完全に土に戻ることを『生分解する』と言います。「バイオマス=生分解」ではなく、バイオマスの中にも生分解しない場合もあります。完全に持続可能なサイクルにするためには、この生分解というハードルを超えなくてはなりません。



2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



## 植物からつくるポリ袋

# バイオマスポリエチレン

- 吉沢工業のバイオマスポリエチレン製品のご紹介 -

## 製品化

さとうきび由来の

## 『SUGAR GREEN』シリーズ



さとうきび由来の製品だから

石油資源の節約

CO<sub>2</sub>排出量の削減

同等の品質・強度



さとうきび由来の原料を使用した「SUGAR GREEN」はレジ袋から空気緩衝材用まで様々な用途の製品に対応しています。石油由来のポリ袋に比べ製造量の3倍のCO<sub>2</sub>を削減することができます。また、石油由来のポリエチレンと同じ「エチレン」から作られるため、石油由来のポリエチレンと同等の品質・強度が可能になりました。

### カーボンニュートラルという発想

製造過程ではCO<sub>2</sub>を排出しますが、それは本来、植物が吸収した分だと考えて、つまりプラマイゼロ(ニュートラル)であるという考え方で、製造しています。



## 開発中

## じゃがいも



### 100%生分解できる製品を目指して

じゃがいものデンプンから作られる生分解性プラスチックの開発に取り組んでいます。製品化できれば100%生分解できるバイオマスポリエチレンになります。

